

## 第13回 まとめとして

【ボブ・ウッドワードの神話 : スクープかリークか】

2006年7月11日  
毎日新聞 中井良則

Bob Woodward (1943- )  
Assistant Managing Editor, The Washington Post  
Pulitzer Prize 1973, 2002 13冊ベストセラー

### ▽ウォーターゲート事件

1972年6月17日、ウォーターゲートの民主党全国委員会本部侵入事件  
ニクソン再選委員会・ホワイトハウスの関与  
ウッドワードとカール・バーンスタインの investigative journalism  
All the President's Men (邦訳「大統領の陰謀」 1974年、映画化)  
情報源 Deep Throat の正体 FBI Associate Director Mark Felt と判明(2005 May)

### ▽ブッシュ政権

Bush at War (「ブッシュの戦争」)  
Plan of Attack (「攻撃計画」)  
Bush と計4回、7時間以上、単独インタビュー  
2003年6月、Joe Wilson の妻、Valerie Plame の CIA 勤務を知る  
2005年11月、大陪審で証言 2日後(11月16日) Post に記事

### ▽ ウッドワード批判

W.Post (2005年11月28日)、NY Times など  
批判派：「アクセス・ジャーナリスト、インサイダーになってしまった」  
「腐敗した政権をひきずりおろしたが、今度は守っている」(Mother Jones)  
「court biographer だ」「情報源が明らかでないから価値が減る」  
擁護派：「ブッシュの政策決定の歴史を中立的な立場で書くことはホワイトハウスの利益。だからホワイトハウスはアクセスを認めた」(Mary Matalin)  
「ジェラシーだ」「日記や手紙を書かなくなった大統領。歴史家にとって重要な本だ」

▽ スcoopかリークか。情報源を守る。

Scoop：記者が探し出し、情報源から秘密の情報を得る

Leak：権力が都合のいい情報を流し、特ダネとして書かせる。

\*AP の基準（匿名情報源）2005 年 11 月

- ① 意見や憶測ではなく情報であり、ニュース報道に不可欠
- ② 匿名の条件でなければ手に入らない情報
- ③ 情報源が信頼できる。正確な情報を持つ立場にある  
の場合だけ使う。

原稿を書く前にニューズマネージャーから匿名の許可を得る。

ニューズマネージャーはアイデンティティを知り秘密を守る。

インタビューの前に条件について交渉する。どうして情報が正確かを知っているのかを聞く。二つ以上のソースで確認する。ソースをできるだけ詳しく表現する。

On the Record/ Off the Record/ Background /Deep Background の違い

以上

毎日新聞 中井良則

- ▽ みなさんのリアクション・ペーパーを拝見しました。「ボブ・ウッドワードをはじめて知った」という人もいるようで、少し驚きました。まあ、自分が生まれる10年以上前のニュースを知らないのも無理はないのかもしれない、と教える側が納得してはよくない。みんな、現代史をもっと調べよう。
- ▽ ボブ・ウッドワードという記者が、アメリカのジャーナリズムだけでなく、世界のジャーナリズムに画期的な変化をもたらしたことは事実だと私は思います。ウォーターゲート事件の報道はそれほどインパクトがありました。みなさんの世代から、新たなジャーナリズムを作り出す人が出てくることを願います。
- ▽ 「スクープかリークか」というテーマにも関心を示す人が多く、安心しました。ニュースの伝え手である記者にとって基本的な問題です。同時に受け手の読者にとって、メディア・リテラシー（メディアの報道内容を読み解く能力）を高めるために「スクープかリークか」の判断は重要になってくると思います。

以上